

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー(欧州株)Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」は、このたび、第4期の決算を行いました。本ファンドは、欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI(人工知能)を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース(為替ヘッジあり)

第4期末(2019年9月17日)		第4期	
基準価額	9,900円	騰落率	2.45%
純資産総額	66百万円	分配金合計	0円

Bコース(為替ヘッジなし)

第4期末(2019年9月17日)		第4期	
基準価額	8,977円	騰落率	-3.44%
純資産総額	246百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

**GSビッグデータ・ストラテジー
(欧州株)**

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

第4期(決算日2019年9月17日)

作成対象期間:2019年3月16日～2019年9月17日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

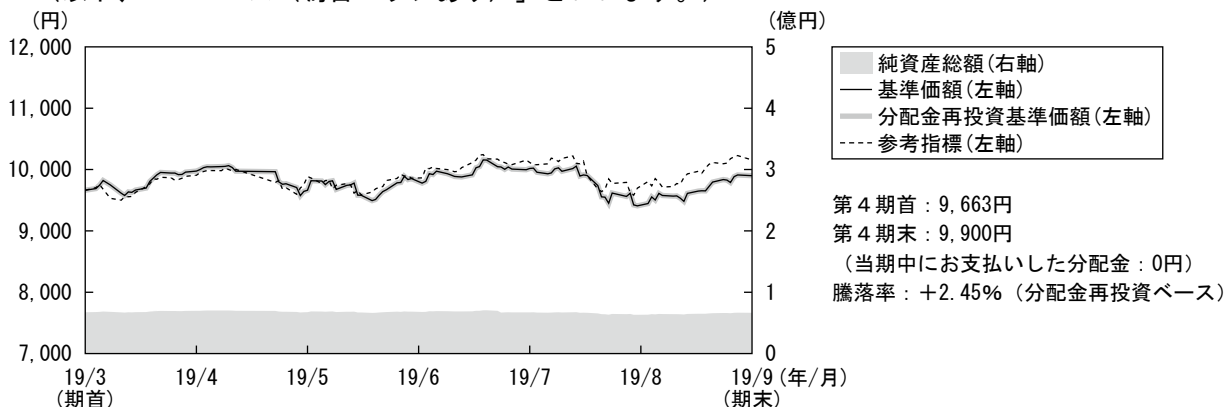
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2019年3月16日～2019年9月17日）

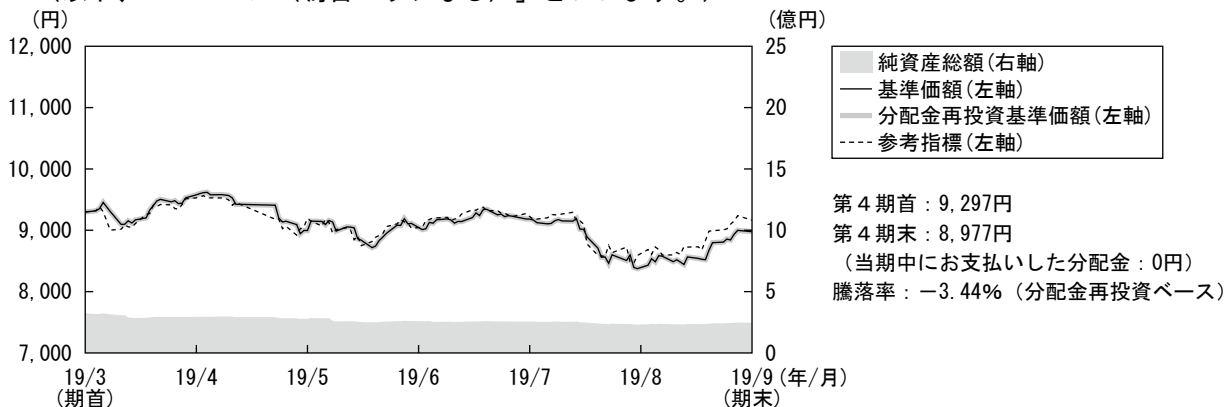
○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Aコース（為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）



○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Bコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



（注1）参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の9,663円から237円上昇し、期末には9,900円となりました。
 - Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の9,297円から320円下落し、期末には8,977円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して「本ファンド」といいます。）

上昇要因

欧州株式市場（現地通貨ベース）が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

生活必需品や金融などの銘柄選択効果、スペインや英国などにおける国別配分効果がマイナス寄与となったことが、基準価額の主な下落要因となりました。Bコース（為替ヘッジなし）においては、英ポンドやユーロなどが円に対して下落したことも基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資ベース）

ファンド名	騰落率 (ユーロベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ* ¹	3.29%	-2.73%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	-0.21%	-6.02%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ルクセンブルク籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス
- *2 アイルランド籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	当期		項目の概要
	2019年3月16日～2019年9月17日		
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.672%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（投信会社）	(32)	(0.329)	
（販売会社）	(32)	(0.329)	
（受託会社）	(1)	(0.014)	
その他費用	6	0.063	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
（保管費用）	(1)	(0.012)	
（監査費用）	(5)	(0.051)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	72	0.735	
期中の平均基準価額は9,767円です。			

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2019年3月16日～2019年9月17日		
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.672%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（投信会社）	(30)	(0.329)	
（販売会社）	(30)	(0.329)	
（受託会社）	(1)	(0.014)	
その他費用	5	0.061	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
（保管費用）	(1)	(0.009)	
（監査費用）	(3)	(0.038)	
（その他）	(1)	(0.014)	
合計	66	0.733	
期中の平均基準価額は9,026円です。			

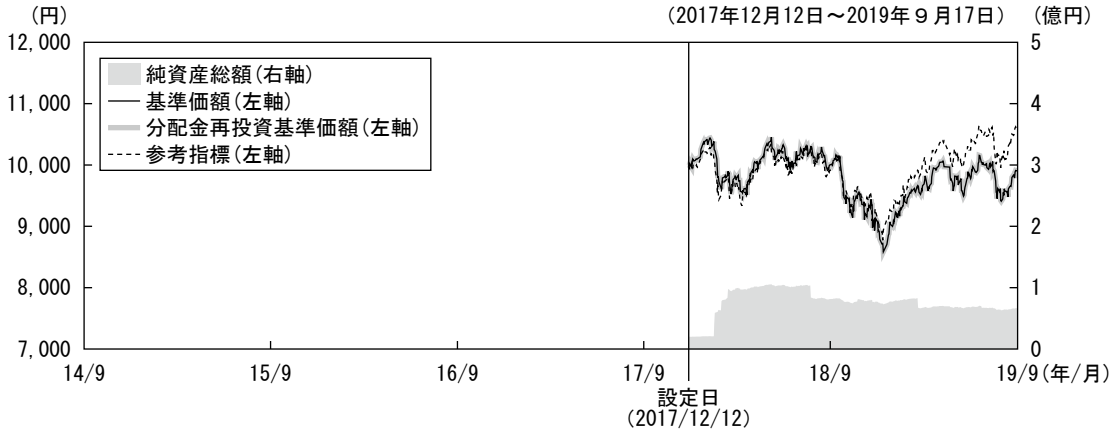
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

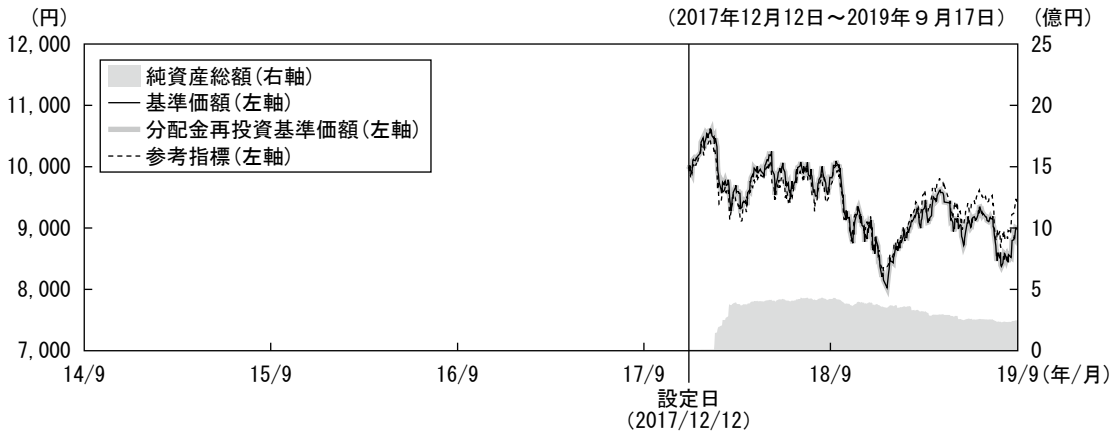
（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2017年12月12日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2017/12/12 設定日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,013	9,900
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.13%	-1.13%
参考指標騰落率	—	-0.80%	6.33%
純資産総額（百万円）	20	81	66

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2017/12/12 設定日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,818	8,977
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-1.82%	-8.57%
参考指標騰落率	—	-2.61%	-3.48%
純資産総額（百万円）	10	421	246

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

■ 投資環境について

<欧州株式市場>

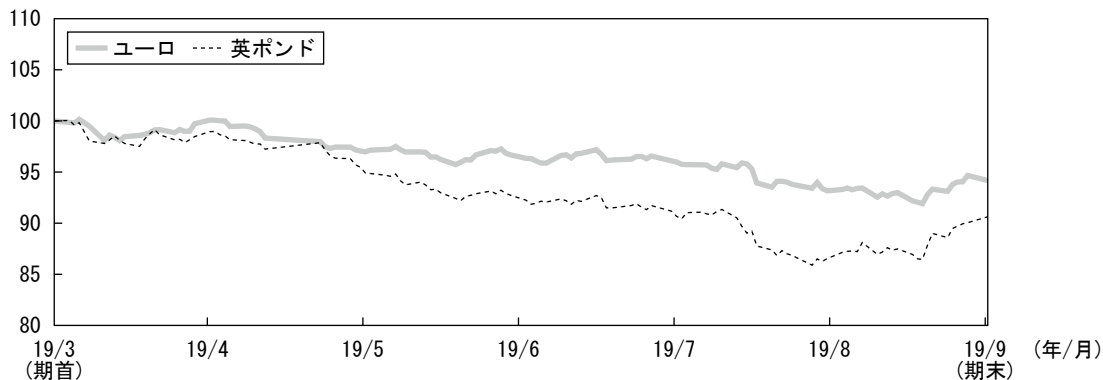
当期の欧州株式市場は上昇しました。

期初は、3月のユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）速報値が軟調な結果となったことなどを受けて、景気減速懸念が意識されたことなどから下落しました。その後は、米中通商協議の進展期待が高まったことや、3月の中国財新製造業PMIが市場予想を上回ったことなどを背景に、世界的な景気減速懸念が後退したことなどから上昇しました。5月は、米中両国間の追加関税の応酬に加えて、米国が中国大手通信機器会社に対する製品供給の事実上の禁止措置を発表したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり下落しました。6月は、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利下げの可能性を示唆したことなどを受けて、米国の金融緩和期待が高まったことや、米中通商交渉の再開が合意されたことなどから上昇しました。7月は概ねレンジ内での推移となりましたが、8月に入り、7月末に行われたFOMC（米連邦公開市場委員会）後のパウエルFRB議長の会見を受けて、米国の継続的な利下げへの期待が後退したことや、トランプ米大統領が中国からの輸入品に対して新たな追加関税を課すと発表したことなどから大きく下落しました。期末にかけては、米中閣僚級協議の準備が進んでいるとの報道を受けて、市場に安心感が広がったことなどから反発し、結局、前期末を上回る水準で期を終えました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、ユーロ、英ポンドともに円に対して下落しました。

○為替レート（対円）の推移



(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、1ヵ月物ユーロLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の-0.41%程度から-0.50%程度まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果と銘柄選択効果のいずれもマイナス寄与となりました。国別配分効果は、スペインや英国などがマイナス寄与となりました。銘柄選択効果は、生活必需品や金融などがマイナス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム（Momentum）・バリュウ（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた評価基準（MVPモデル）に基づき、投資魅力度を総合的に評価していますが、当期は、「モメンタム」「バリュウ」「収益性」のいずれもマイナス寄与となりました。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>

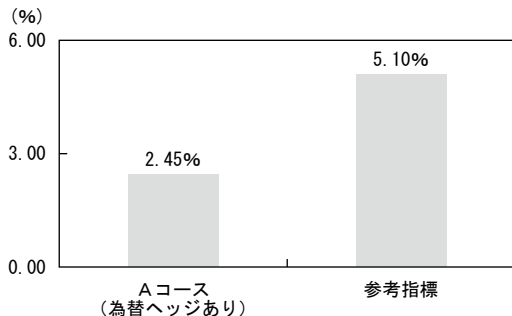
主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

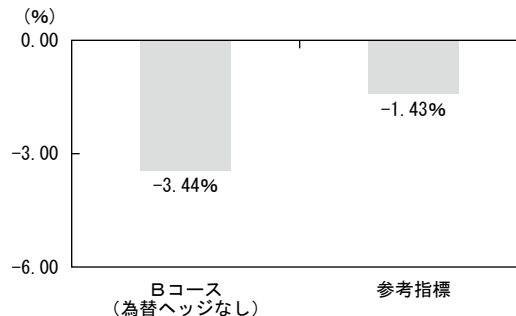
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注) 各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+2.45%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+5.10%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-3.44%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-1.43%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Aコース（為替ヘッジあり）およびBコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 4 期
	2019年3月16日～2019年9月17日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 4 期
	2019年3月16日～2019年9月17日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組入れ、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>

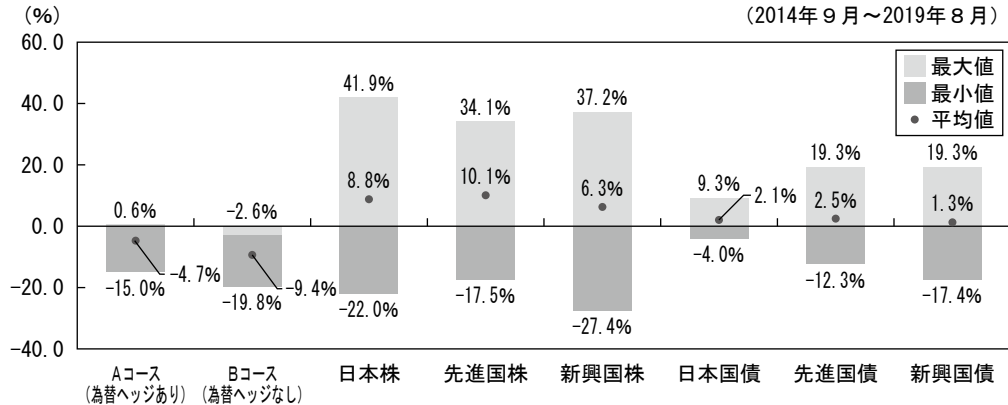
今後も主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2028年3月15日まで
運用方針	主として欧州の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	欧州の株式
指定投資信託証券②	ユーロ建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2014年9月から2019年8月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、1年騰落率は各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2017年12月12日）から1年後の2018年12月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2019年9月17日現在）

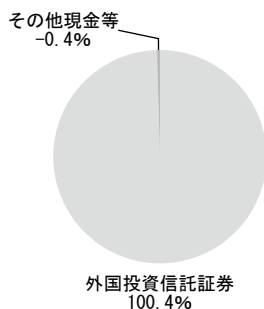
< Aコース（為替ヘッジあり） >

○ 組入れファンド

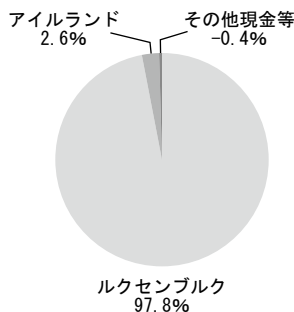
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ	97.8%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

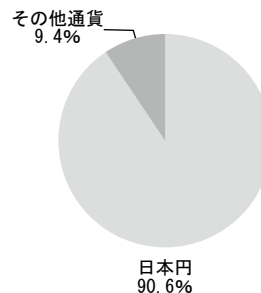
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全てAコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

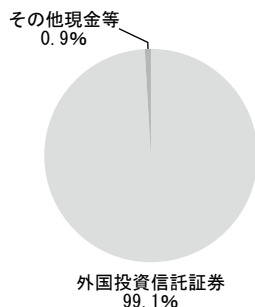
< Bコース（為替ヘッジなし） >

○ 組入れファンド

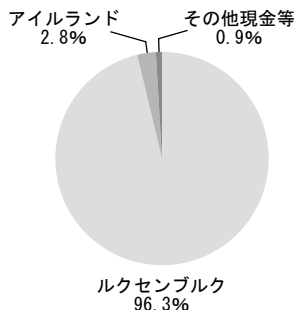
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ	96.3%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

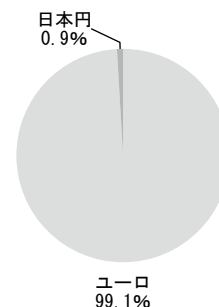
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全てBコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第4期末
	2019年9月17日
純資産総額	66,531,551円
受益権総口数	67,206,085口
1万口当たり基準価額	9,900円

（注）期首元本額は69,747,301円、当作成期間中において、追加設定元本額は823,307円、同解約元本額は3,364,523円です。

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第4期末
	2019年9月17日
純資産総額	246,115,995円
受益権総口数	274,153,568口
1万口当たり基準価額	8,977円

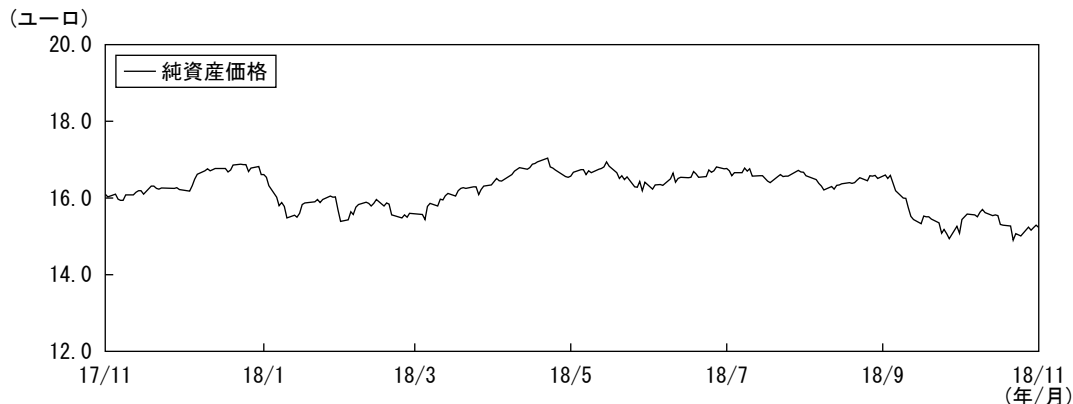
（注）期首元本額は347,822,271円、当作成期間中において、追加設定元本額は11,655,489円、同解約元本額は85,324,192円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>（2018年11月30日現在）

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2018年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2017年12月1日～2018年11月30日）



○費用明細（単位：ユーロ）

費用	
当座借越支払利息	192,078
スワップ契約配当調整金	27,329
有価証券貸付にかかる手数料	115,643
投資顧問報酬	15,515,421
保管費用	474,182
管理事務代行報酬	332,976
販売報酬およびサービシング報酬	916,789
名義書換事務代行報酬	174,153
年次税	552,416
監査報酬	9,606
管理会社報酬	443,513
取締役報酬	15,705
弁護士報酬	3,361
印刷費用	36,477
出版費用	7,127
税務報告報酬	69,237
支払代理人報酬	20,867
規制報告報酬	45,332
その他費用	134,968
	<hr/>
	19,087,180
投資顧問報酬調整額	(19,605)
費用合計	<hr/>
	19,067,575

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2017年12月1日から2018年11月30日までのものです。

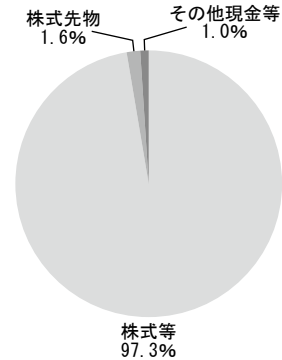
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

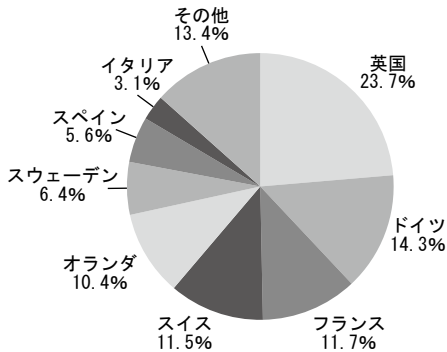
（組入銘柄数：170銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ロシュ・ホールディング	スイス	2.9%
2	B P	英国	2.7%
3	アリアンツ	ドイツ	2.1%
4	A S M Lホールディング	オランダ	2.0%
5	アホールド・デレーズ	オランダ	1.7%
6	E N I	イタリア	1.6%
7	アディダス	ドイツ	1.5%
8	チューリッヒ・インシュアランス・グループ	スイス	1.5%
9	テレフォニカ	スペイン	1.5%
10	サフラン	フランス	1.4%

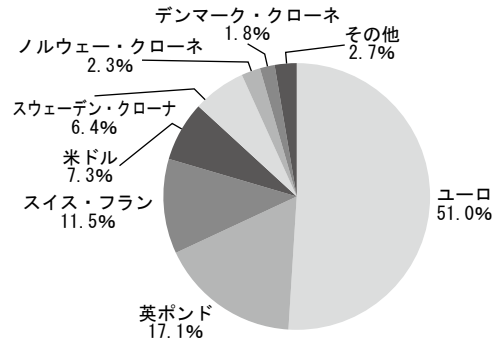
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

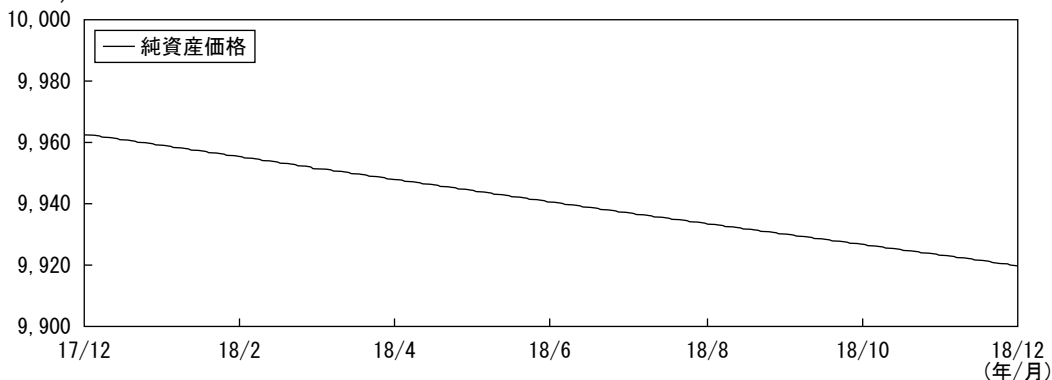
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>（2018年12月31日現在）

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年12月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2018年12月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2018年1月1日～2018年12月31日）

(ユーロ)



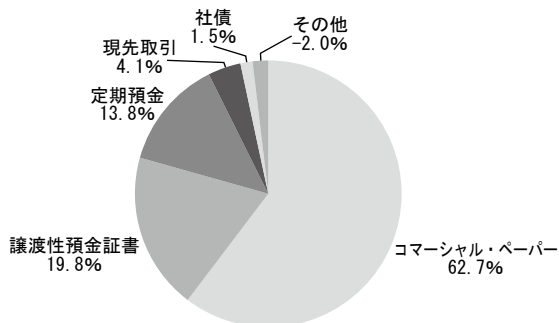
○費用明細（単位：ユーロ）

費用	
投資顧問報酬	16,555,828
管理会社報酬	952,489
管理事務代行報酬	346,452
保管費用	822,332
販売報酬	1,916
名義書換事務代行報酬	239,028
監査報酬	14,298
取締役報酬	5,216
弁護士報酬	19,891
保険費用	12,714
印刷費用	27,131
その他費用	227,575
費用合計	19,224,870
投資顧問報酬調整額	(9,875,107)
運用費用合計	9,349,763

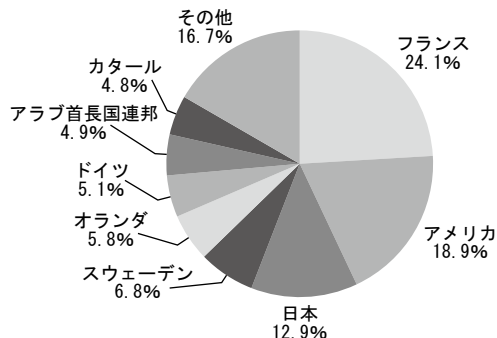
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2018年1月1日から2018年12月31日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

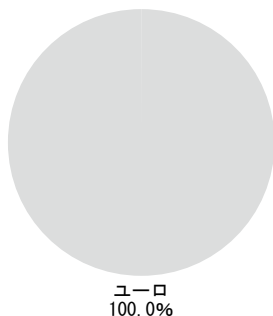
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：181銘柄）

	銘柄	種別	通貨	比率
1	National Bank of Abu Dhabi	定期預金	ユーロ	4.9%
2	Agence Centrale Des Organismes De Securite Sociale	商業紙	ユーロ	3.7%
3	BNY Mellon	定期預金	ユーロ	3.3%
4	Agence Centrale Des Organismes De Securite Sociale	商業紙	ユーロ	2.8%
5	Qatar National Bank SAQ	譲渡性預金証書	ユーロ	2.4%
6	Banque Federative Du Credit Mutuel	商業紙	ユーロ	2.3%
7	LMA SA	商業紙	ユーロ	2.1%
8	BNP Paribas	定期預金	ユーロ	2.0%
9	Qatar National Bank SAQ	譲渡性預金証書	ユーロ	2.0%
10	Svenska Handelsbanken AB	商業紙	ユーロ	1.9%

（注）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。